

コロナで見た、ジェンダーギャップ

2020年4月の初めての緊急事態宣言から1年が経とうとしています。

この間、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷは、臨時休館や事業縮小などの影響を受けました。コロナの収束は見えないまま、不安な日々が続いています。

■リモートワークと家事分担

緊急事態宣言で進んだことに「リモートワーク」があります。これまで、産休・育休する女性が希望しても進まなかった「在宅勤務」がニューノーマルとして取り入れられました。通勤時間や無駄な会議がなくなったという声の一方で、「家事をしながらの在宅勤務は無理」「突然の休校で困った」という声をききます。従来から日本の家事分担は男性の負担度が低く、共働き女性の平日の家事時間は4時間54分、男性は46分と大きく差があります。(出典：社会生活基本調査2016年)

■リモートワークできなかった人

産業別のリモートワーク導入実績をみると、IT関連では進んでいます。対人サービスが必要なサービス業、医療、介護、生活関連事業などでは導入できない職種も多くあります。リモートワークができる社会を支えたのは、スーパーマーケットや宅配業者、インフラ事業者、医療・介護従事者などの「エッセンシャルワーカー」でした。

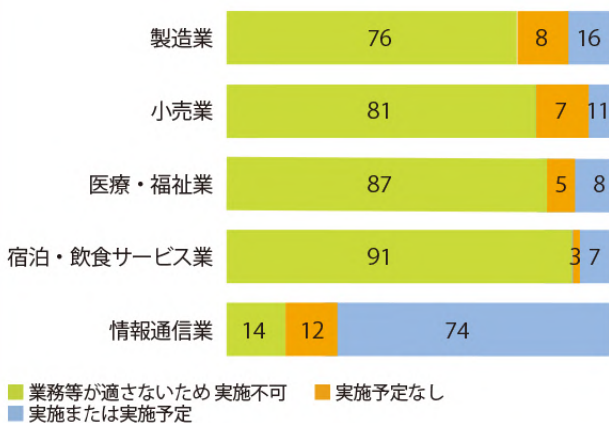
■働く女性は増えている、でも

女性が出産・育児で仕事を辞めてしまうことによるM字カーブは、この30年でほとんど解消され、働き続ける女性や、再就職する女性が増えています。その一方で増え続けたのは非正規雇用でした。共働き世帯は専業主婦世帯の2倍になっています。(出典：男女共同参画白書2018年)

それでも、働いている女性の多くは非正規雇用です。正規雇用者における女性の割合は22.3%しかありません。(出典：国民生活基礎調査2019年)

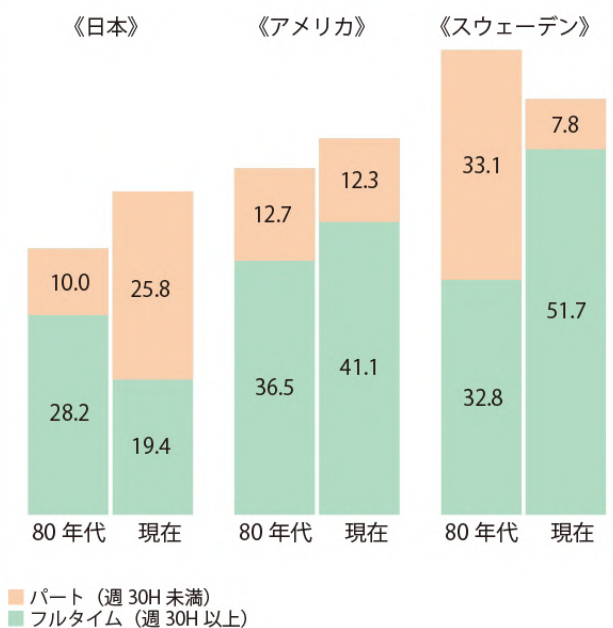
コロナ禍の2020年8月の総務省労働力調査によると、非正規の雇用者数は前年同月から131万人減少しました。その多くは女性たちだったと考えられます。

▼在宅勤務(テレワーク)の業務別実施状況(%)



※出典：「中小企業経営者アンケート『大同生命サーベイ』2020年5月度レポート」(大同生命保険株式会社)
<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/202005.html>

▼成人女性の就業率(%)



※18歳以上の女性の回答
 ※第一回と第7回の「世界価値観調査」より舞田敏彦作成

弱者ほど、影響を大きく受ける社会構造

2020年6月以降は女性の自殺率が前年比を上回り続けています。(出典:厚生労働省、自殺の統計)女性の社会課題に詳しい研究者からは、経済困窮だけではなく、DVや性暴力被害とも関連するのではないかとされています。

大きな船ほど嵐に耐え揺れも小さく済みます。笹の葉で作った小さな小舟はすぐに波に飲まれてしまいます。

コロナ禍では、社会的に弱い立場にある人が、

もともと抱えていた問題を深刻化させました。突然、困難が生まれたわけではありません。誰もが抱えていたちょっとしたことが、非常時に加速し、浮き彫りになりました。災害時、女性、高齢者、障害者、ちいさな子ども連れなど、力の弱い者が苦難を強いられることは、防災を考える時に必要とされています。

弱いことは自己責任ではありません。誰もが安心して暮らせることは、社会みんなの考えるべき課題です。

▶WEBによるアンケートを実施

すてっぷでは、2020年6月にウェブによる緊急アンケートを行いました。さまざまな状況の「困りごと」がリアルに書かれています。

正社員と派遣社員だけが在宅勤務を認められ、立場の弱いパートだけが出勤日数を減らされて出勤した。(40代女性/パート・アルバイト)

医療従事者はコロナ渦中でも平常と変わらない勤務。コロナ患者を受入すると日常以上に忙しく、危険をおかしながら頑張っても偏見に晒されるのが納得できない。(40代女性/パート・アルバイト)

在宅勤務の期間中は昼休みも家事(子どもの食事など)、終業直後から家事。常に勤務中でキツかった。(40代女性/契約・派遣社員)

コロナで一番犠牲になったのは子どもたち。休校中の対応は市町村によって差があって格差が生まれていると感じる。(40代女性)

単身赴任中だが、母親の介護と妻の看護のため毎週末豊中へ戻る生活。新幹線での感染リスクが気になって自家用車で移動した。自分が感染したら母親や妻も重篤化すると感じる。苦しいのは店舗だけではない。(50代男性/正社員)

ネット購入に不慣れなものには買い物に不便さを感じた。(40代女性)

働いていても、在宅勤務していても、それぞれの事情で困難さが「より苦しく」なっていることがわかります。同様のアンケートや調査は各地域の男女共同参画関連機関で実施されています。

大阪府「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について」

<http://www.pref.osaka.lg.jp/danjo/danjo/kinkyu.html>

緊急 Web 調査 新型コロナウイルスによる影響について

調査期間：2020年6月1日～6月15日

調査方法：WEBフォームによるアンケート調査

回答者：豊中市在住もしくは在勤の方

- ・仕事への影響について
- ・子育てへの影響について
- ・シングルの方への影響について

総回答数：95件

主に緊急事態宣言中のことについて回答をいただきました。

※個人が特定されないよう一部抜粋で掲載しています。全文はすてっぷウェブサイトにてご覧いただけます。

